

F u - Z i n

第30号
平成24年4月発行



報告

第27回NPO博多の風フォーラム

明日のために
言いたか放題



報告 第11回 祭童子あつまれ
楽文コンテスト表彰式

告知 第11回 博多のおいしゃんと歩こう
追い山笠コース探訪

近年の活動

※設立からの詳細はホームページをご参照ください

平成22年

- 4月 第24回 NPO博多の風フォーラム 開催
講師:大庭宗一氏(NPO博多の風理事長)
- 5月 第17回 はかたの町クリーン作戦 (雨天中止)
- 6月 第9回 追山コース探訪 開催
第10回 祭童子集まれ楽文コンテスト 実施
- 10月 第18回 はかたの町クリーン作戦 実施
第10回 祭童子集まれ楽文コンテスト表彰式 開催
第25回 NPO博多の風フォーラム 開催
講師:杉浦孝昭氏(映画評論家)

平成23年

- 4月 第26回 NPO博多の風フォーラム 開催
講師:高島宗一郎氏(福岡市長)
- 5月 第19回 はかたの町クリーン作戦 (雨天中止)
- 6月 第10回 追山コース探訪 開催
第11回 祭童子集まれ楽文コンテスト 実施
- 10月 第20回 はかたの町クリーン作戦 (雨天中止)
- 11月 第26回 NPO博多の風フォーラム 開催
講師:大庭宗一氏(NPO博多の風理事長)
沢田幸二氏(KBC福岡放送アナウンサー)

NPO博多の風の歩み

- 設立
平成10年 9月
任意団体『博多の風』設立 代表:大庭宗一
- NPO登記
平成12年 6月
『NPO博多の風』として登記 理事長:大庭宗一

NPO博多の風事業概要

- 啓発事業
 - ・博多の風フォーラム開催
 - ・広報誌・HP発行
 - ・毎日新聞世論フォーラム公聴
 - ・作文コンクール(楽文コンテスト)実施
- 地域環境向上事業
 - ・博多の町親交
(清掃活動クリーン作戦・冷泉小学校跡地提言・山笠文化継承)
- 活性化事業
 - ・書籍出版
 - ・博多祇園山笠の振興
 - ・追山コース探訪開催
- 協力事業
 - ・各市民団体との情報交換及び支援

NPO特定非営利活動法人



〒812-0027
福岡市博多区下川端町8-16 -302
FAX 092-263-7188

E-Mail info@hakanokaze.jp
URL http://hakanokaze.jp



NPO博多の風フォーラム 明日のために言いたか放題

去る平成23年11月19日、第27回NPO博多の風フォーラムが福岡市立博多小学校「表現の舞台」にて行われました。今回はNPO博多の風・理事長である大庭宗一氏とKBC九州朝日放送アナウンサーの沢田幸二さんにご登壇いただき、「明日のために言いたか放題」と題して、政治・野球、そして震災といった様々な分野について、ざっくばらんにお話いただきました。



沢田幸二(さわだ こうじ)
KBC九州朝日放送アナウンサー
山口県岩国市出身
昭和55年 KBC九州朝日放送入社
趣味 読書・ゴルフ
【出演番組】TV「サワダデース」 RADIO「パオーン」
アナウンサー界で一番の山笠のぼせ男

■昨日のお客様は何と!

(大庭) 実は昨日、博多の高級居酒屋(笑)である「やす」にあるお客様が来られましたね。それがなんと南こうせつさんだったんです。

(沢田) ホントですかあ!あの方、ホント良い方で。まさに聖人みたいな方なんですよね。

(大庭) 震災が起きた後もまだまださしさんなんかと一緒にチャリティーコンサートを開催されたりして、しかも寄付金を自ら持っていかれてるんですよね。そんな南さんが昨日コンサートの前日というところで、テレビ関係の人達と店に来てくれて、震災後のチャリティー活動のこととか、いろんな話をしていたんですね。で、本当に色々話をしている中で、松本龍さん(衆議院議員)の話をしたんです。彼は音楽の世界に本当に詳しい人でしてね、こうせつさんも

以前、松本龍さんが言っていた何かのコメントを目にした時に、こんなに音楽に対して造詣の深い人はいないと思われてたそうなんです。それで、今度龍さんに会った時にでも、「南こうせつがそんなことを言っていたよ」と伝えておいてほしいと。

(沢田) はあ!そうなんです

(大庭) そうしたら、「ちよつと待ってくださいよ」ということで、携帯電話で龍さんに電話してみたら、彼が電話に出たんです。彼にぜひ今度電話してもらおうようにと言ったら、ぜひぜひ!と。 (沢田) いやあ、松本さんと南さんを引き合わせたコーディネーターですね! (大庭) まかしてくれんですかあ!たまたま出ただけですけど。(笑) (沢田) いや、たまたまでも電話に出ることがスゴイです!

■「発言」の真相と「震災報道」

(大庭) まあ、そんな松本龍さんがいるんな問題があつて辞めましたけど、実は、震災後の「復興大臣」にはなりたくなかったんですね、あの時点では。菅直人さんに対しても三回断っていたそうです。ところが他にやる人もいない。結局、復興大臣を引き受けたんだけど、その後彼は誰よりも被災現場に行ってるんですよ。

で、現場の市長や町長なんかとどうしたらいいか色々話し合う。ところがあの時点ではお金が無いんですね。お金が無い、でも各地で多くの問題も抱えている。そんな中で彼は必死になって動いていたんだと思います。

震災後の、僕らなんか想像もできないような状況の中で彼は何度も足を運び、大臣としてこんな状況を何とかしたいと責任も感じるようになって

ると!私は立場上、黙って聞かせてもらいますが。(笑)。

■プロ野球界に物申す!

(大庭) (巨人の)清武さんの話からいきましょうか。

(沢田) 昨日解任されましたね、清武さん。日本シリーズ前日のあの発言、タイミングとしては最悪でしたからねえ。

(大庭) 清武さんのほうが喧嘩をしたのが間違っていたというの、あの人についてくる人がいれば良かったんだけれども、だれもいなかったというところやね。

(沢田) 桃井さん(巨人軍オーナー兼代表取締役社長)との信頼関係は本人の中ではあるつもりなのだったんですけれど...

(大庭) 全く無かったってことやね。呼び捨てで呼んでたよ、清武さんのことを。清武さんはね、世論が味方につくと思ってたんですよ。ところが一番いけないのは肝心の「選手」からの信頼関係も無かったってことですね。僕は(清武さんの解任で)問題がスッキリしたし、あれで終わらせて良かったんじゃないかなと思いますよ。解任の日(日本シリーズの)試合も無かったしね。清武さんは訴訟してくるかもしれないけど、勝手にやってくれという感じ。喧嘩の仕方がちよつと



大庭宗一(おおば そういち)
NPO博多の風 理事長

昭和25年 博多区下土居町生まれ。博多を拠点にエッセイストとして活動中。エッセイ集の発行の他に新聞・雑誌等へも多数寄稿している。また、ラジオのパーソナリティとしても活躍中。

る。報道されたあの発言に対して世の中にはおかしいとか何とかいろいろ出たけど、本気で覚悟を決めてやっていたら、ああいう話が出てくるんですよ。岩手県知事との会談の場で言った「ちゃんとしなさいよ」というのは県民・市民に言ったわけではなく、あくまで知事に対して言ってるんです。

(沢田) あの報道に関して言うと、実はあの場面での会談というのはあくまで一対一の話だから、放送では流さなくてくれよと事前に言われていたんです。

(大庭) いわゆる、オフレコってやつやね。

(沢田) 放送で流さないでねと事前に申し合わせていたものを放送してしまっている。だから厳密に言えば我々送り手の側のルール違反なんです。それを「震災」という特殊な状況の中で、震災に遭われた方もそれを報道する側もちよつとやはりバランスが崩

間違ってたね、ってところが僕のこの件に関しての正直なところやね。

で、今回の日本シリーズだけれども、途中で試合の経過を確認しながら「どんな試合をしているのかな?」っていうふうに見ると、今回の日本シリーズはホント奥が深いねえ。幸ちゃん(沢田さん)とも話をしていたけれども(中日の)谷繁で始まり谷繁で終わるシリーズかなあと。

(沢田) ホント、谷繁次第ですよ。中日は。

(大庭) あのくらのレベルになつたら、ピッチャーでなくキャッチャーで決まるんだってことを今回本当に勉強させてもらった気がするんですよ。

(沢田) 1・2戦は本当に谷繁のおかげで中日が勝ったという...

(大庭) 今、12球団でナンバー1キャッチャーといったら谷繁、ナンバー2といったら(西

れてしまってたんですね。本当は流れるはずの無かったあの映像が流れてしまった、「議員の問題発言」という形になってしまった。というのが本当のところなんです。

(大庭) 一方で今の政府、いろんな大臣がコロコロと変わっていく中で大臣としての「質」が落ちてしまっているのも事実なんです。酷い人が多い。名前は言えませんが、あの人がだつたりこの人だつたり...

(沢田) 確かに政治家の質の問題もあるし、それを報道する側のレベルの問題もあるし。あと今は「コンプライアンス」がどうとかこうとかで何でもですね。巨人のあの人がいないですけど、ここでコンプライアンスなんて言っちゃいかんやろ?ってところであらうなよ。

(大庭) よし!じゃあ野球の話に移ろうか!(笑) (沢田) 大庭さんが野球界のことについて言いたい事があ

武から移籍したソフトバンクの)細川。だから細川をソフトバンクが採ってなかったら今年のソフトバンクは無かったんじゃないかなあと。

(沢田) キャッチャーの役割って大きいですねえ!

(大庭) 打つだけのキャッチャーってダメなんです。

(沢田) 打つだけのキャッチャーもいますよ。

(大庭) Jさんとか。

(沢田) あの世界って「個人」の集団ですけれど、やっぱりチームワークっていうのが最終的には大事になってくるんです。

(大庭) 選手なんて「個人事業主」みたいなもんだから、一人一人が頑張らないといけないんですよ。でも最後はやっぱりねえ。まあ、その中でどのくらいお互いが一緒にやっていると...ってことなんでしょう。

（大庭）あと、私、気になるのが「応援団」。選手によって応援の節回しが変わったりするらしいですね。

沢田）そうですね、そうですね。けっこう細かい。

（大庭）そんなんで選手のことをホントにちゃんと見て応援してることになるのかな？

：つて。もつと純粹に野球のことを見るってことになったから、ホークスに限らず日本の応援団はやり方を変えないといけないじゃないかなあって思うんですね。走り回ってるし、うるさいし。昔、西鉄ライオンズ時代に個人でやってたあの応援が本当の応援！今は野球が見れるんだつたらともかく、野球もまともに見れんでしょ？しろしかくと思えてね！

■災害：自分を守る事ができるのはやっぱり自分

（大庭）先週、アイビーエムさんの「九州フォーラム」という会合に行ってきたんですよ。で、原発のことで最近問題になってる九州電力からも松尾会長がお見えになってたんですね。この集まりはその松尾会長が代表世話人で、他に九州を代表する企業の役員の方々が世話人をやっておられ、その一方で私みたいな怪しい者もまぎれ込んでたりするんです（笑）。

で、そのフォーラムの分科会を十数人でやったんですけど、やっぱり、その中でも原発の話が出るんですよ。今回のテーマである「明日のために」言つてかかないといけないと思うんですよ。「東南海地震」はデータからみても間違いないと起る。で、その時に宮崎・鹿児島・大分、そして関門は津波の被害を受ける可能性が非常に高いわけですね。そんな中で原子力だったり火力だったりをどうしていくべきなのか、九電関係の方がいなくて話しやすかったこともあり、その分科会で話し合ったわけです。まあ、翌日の全体会議の中ではなかなか分科会での話は言えないですけどね。

別の日、災害において一番大事なのは何かあつたということ、福岡市の山崎副市長と話をしていたんですけど、彼は副市長就任のギリギリまで松本元大臣の下で仕事をされていたんですね。そんな副市長が挙げられた大切なこと、それは一番に「自助」、次に「協助」、そして「公助」なんです。一番に「自助」であることに対して違うんじゃないかって意見もありそうなんですけど、何かあつた時に身を守る事ができるのは結局自分自身なんです。じゃあ、災害が起つた時の自分の避難場所つ

「明日のためになるかどうかは分かりませんが」という沢田さんの大胆な発言でスタートした今回のフォーラム。あらゆる分野にお話は広がりましたが、そのどれもがユニークあり、裏話あり、実名トークあり！といった、まさに「言いたか放題」の笑いが絶えない時間となりました。

その中で、あまり肩ひじ張らずに「少しだけ」の気持ちを持ってきちんと一つのことをやる、そしてその「少しだけ」を毎日コツコツと積み重ねていく。いろいろなことにスピードが求められる今の時代ですが、そんな時だからこそ「少しずつ、一歩ずつ」の気持ちをもって物事に取り組んでいくことがいかに大切なこと

であるか、お話の中からひしひしと伝わってきました。一方、昨年の大震災から一年経つた今も、多くの被災された方々にとつては家族や友達といった身近な人々が普通にいるという「当たり前のこと」が、一瞬にしてそうでなくなつてしまったという想像に耐えがたい現実があります。月並みではありますが、心のどこかで改めて「当たり前」の状況であることに感謝し、離れて暮らしていたとしても家族や友人との絆を大事にしていきたい。そんなふうを感じることできた意義のある場となりました。

（田中 大士）



て知ってますか？…ほとんどの方が答えられないんですよ。これが現実なんです。これくらいは知っておいたほうがいい。それなのに「公助」も何もあつたもんじゃありません。



■自分にとつての「幸せ」とは何なのか？

（大庭）私はいろんな所で講演活動をさせてもらつてるんですけど、その時必ず「少しだけ」っていうことを言つてるんです。今の若い人達つて真面目な人ほど一生懸命、あれもこれも完璧にしようとして結構キツそうなんです。この会場にいる人達もそれぞれが「少しだけ」何か一つのことをしたら立派なものだなど。だからもうちょっと自分の気持ちというものをラクにせんですかと。先日、宗像の調剤薬局の会社で講演さ

せてもらつたんですね。講演後、皆さんが書かれたたくさん感想文を見せてもらつたんですが、この「少しだけ」っていう言葉に感動した、というコメントもありました。

今の時代つていうのは忙しいすぎるでしょう？「幸せ」に対する考え方も昔とは全然違つて、今はズレてきている気がする。これも震災後、講演の時にいつも話すんですが、やっぱり「当たり前」のありがたさ」が大切なんですよ。

（沢田）そうですね！今年には特に思いますね。ブータンの国王が来日しましたけど、日本の多くの人がブータンつてすごい国なんだつて思つているのは、そういう原点に日本が返りたがつていてるからだと思うんですね。

（大庭）何を大事に考えるか？自分にとつて大事なものでつていうのは実はすぐそばにあるんだということ、すぐ忘れてしまひますよ。私みたいなのは古い人間だから、今の時代つていうのは正直言つて好かん、というか昔のほうが好きだつたつて感じなんです。昔つていうのは自分たちの身の丈で生きていけたから。：「情報」にしたつて、いろんなツールは使うべきやろうし、詳しく知りたいと思つたらものすごく便利なんだけ

報告

第11回

楽文コンテスト表彰式



に台上がりできた嬉しさを素直に文章で表現してくれました。他にも山笠で若手として初めて参加したことの嬉しさや自分と与えられた役割を果たすにあつたつての緊張感、また「ごりよんさん」として参加した裏舞台での新たな発見などなど。私たち山笠に携わる大人も、改めて「7月が待ち遠しい！」と思えるような作品揃いでした。

もちろん、題目は山笠に限つたわけではありません。博多どんたくで「稚児舞」として参加した博多小学校4年の白水知之介君は、本番にいたるまでの練習での奮闘ぶりを。片江中学校1年の岡村小春さんは、町内の夏祭り打ち上げ花火を見た時に感じた中学生になつてからの気持ちの変化や戸惑いを、それぞれ文章で表現してくれました。

どの作品も思わずウーンと唸つてしまうものばかり。会場では受賞者の皆さんに惜しみない拍手が送られました。

（田中 大士）

告知

第28回 NPO博多の風フォーラム 開催のご案内

■開催日時：平成24年4月21日（土） 開場：13:30／開演：14:00 ■開催場所：博多小学校「表現の舞台」

講演 「報道見聞録」 講師 松本 卓士^{たかし}氏（RKB毎日放送 報道部記者）

※ご家族、ご友人をお誘い合わせの上、ご参加ください。多数の方のご参加をお待ちしています。



（沢田）実は、今日の日本シリーズ、僕はテレビじゃなくてラジオのほうでレポートをやるんです。自分もラジオの原点に返つて、皆さんが思い浮かぶような、匂いたつような（笑）「ビールかけ」のレポートができればと思つてます！

れど、そういう意味では「本を読む」とか「新聞を読む」とかいうのは、改めてすごく大事だなあと思うんです。あと「ラジオ」もですね。大変だろうけど沢田さん、頑張つてよ！

そして自分の周りにいる人々に対して、身近な存在だからいろいろあるやろうけれども、「この人達がなくなつたら」つていうくらいに気持ちをそれぞれが持ちながらやつていってもらえれば、ちよつとしたことがあつても許せるでしょ？…そんなふうにも思つてもらえればいいんじゃないかと思つてますね。

NPO博多の風 平成24年度総会



平成24年3月17日(土)開催
 各担当理事及び幹事の出席のもと平井事務局長の司会で平成24年度の総会を実施しました。

一号議案 平成23年度事業報告、決算、監査報告
 二号議案 平成24年度事業計画、予算審議

右記に関して審議を行い、満場一致の拍手のもとに承認されました。

NPO博多の風 平成24年度 体制一覧

- ◎理事長 大庭 宗一
- ◎副理事長 大庭 信雄(イベント総括担当)
- ◎理事 因幡 敏幸(追山コース探訪事業担当)
- ◎理事 平井 彰(事務局長・楽文コンテスト事業担当)
- ◎理事 福田 一男(事務総括)
- ◎理事 笠 信一(財務担当)
- ◎理事 松本 昭久(企画・出版事業担当)
- ◎理事 野田 輝幸(会計・博多の町親交事業担当)
- ◎理事 野中 雅治(総務・広報企画事業担当)
- ◎理事 村岡 昌哉(フォーラム事業担当)
- ◎監事 金子 俊明
- ◎監事 板谷 益男
- ◎監事 後郷 光信
- ◎顧問 太田 勇之助

告知 第11回 探訪 博多祇園山笠追山コース

平成24年6月3日(日)開催(予定)

恒例の「追山コース探訪」が今年も6月に開催されます。当番法被に身を包んだ「おもしろい」達と追山コースを回りませんか？山笠の歴史や昇手ならではの迫力ある解説など、ここの話もとびだしますよ！

募集案内は、5月初旬に新聞紙上、ホームページで告知させていただきます。多くの方のご参加をお待ちしています。



第10回の模様(平成23年6月)

告知 第21回 はかたの町クリーン作戦

平成24年5月26日(土)開催(予定)

「安全・安心の街づくりはきれいな街から」ということで、年に2回追山コースを中心に、清掃活動を実施しています。冷泉公園の「青い幟」が目印です。昨年は2回とも雨のために中止になりました。多くの方のご参加をお待ちしています。



第18回の模様(平成22年10月)

NPO博多の風 賛助会員募集のお知らせ

我々「NPO博多の風」の主旨をご理解いただき、活動に賛同いただける方を広く募集しています。お知り合いの方をご紹介ください。

お問合せ 「NPO博多の風」広報企画(担当:山口)

E-mail info@hakatanokaze.jp
 FAX 092-263-7188



NPO博多の風の最新情報はホームページに掲載中です。

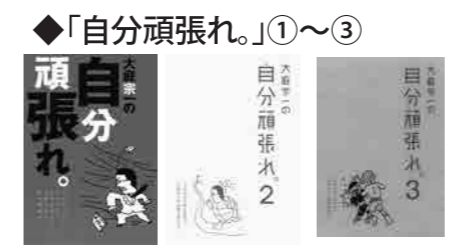
URL <http://hakatanokaze.jp>

大庭宗一の大人気エッセイ シリーズ第7弾
「明日への一言。7」
 人気シリーズの最新刊が、平成24年3月14日に発行されました。熱いメッセージがいっぱい詰まったエッセイ集です。



定価600円(税込)

NPO博多の風のホームページでも購入申し込みができます。



人気シリーズ「自分がんばれ。」も好評発売中です

〓編集後記〓

三月に入っても冬のような北風が続いていましたが、春分の日を過ぎてようやく春らしさを感じるようになってきました。高知の桜から、桜前線がスタートし、本格的に日本に春の装いが広がります。甲子園では、選抜高校野球大会も始まり、球春も到来。「人は誰でも答えのない悲しみを受け入れることは苦しくて、つらいことです。しかし、日本が一つになり、その苦難を乗り越えることができれば、その先に必ず大きな幸せが待っていると信じています。だからこそ、日本中に届けます。感動、勇気、そして、笑顔。見せましょう、日本の底力、絆を」。今年の石巻工業・阿部翔人主将による選手宣誓も非常に心を打つものでした。当たり前の毎日に生かされている事への感謝の気持ち忘れずに、家族や友人、さらには地域との絆を大切に、少しでも未来を良くするために色々なことをもう一歩踏み込んで考えていきたいと思えます。

(中山 肇)